フェー 「アスパラガス(立茎ハウス)」<u>栽培基準</u>

品 種 名	ウェルカム、スーパ [°] ーウェルカム、パ [°] ープルウェルカム カ*インリム、セ`ンユウカ`リハ [*] ー、アティカス
目標粗原反収	540kg
目標製品反収	480kg
播種時期	(定植年)3月下旬~4月上旬
定 植 時 期	(定植年)5月下旬~6月上旬
収 穫 時 期	3月下旬~9月下旬

		10月			11月			2月				3月		4月		5月		6月			7月			8月			9月	
		上	中	下	上中	下	上	中	下	H	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	ト	上月	7	上	中下
		防			倒伏防 止措置				ハウス						f	到伏队	方止	措置	1					防	. [除		
	基	除			撤去				準備		+	-14	春芽	収種	Amt	立	を移行	」(収	穫)					夏	芽収穫			
	本 作 業								茎葉	処理	施肥					施				施		施	方	钷	挤		施	
									堆肥	£肥施用						肥				肥		肥	Я	巴	朋	9	肥	
																				灌	水							

【 施肥基準 】

	肥料名	施用量	要素量(kg/10a)				
	NC 44 10	心巾里	Ν	Р	K		
収穫前	硫安	15kg	3.15				
春収穫後	アスパラ化成552E(有機質)	50kg	7.5	7.5	6.0		
合纵传版	発酵ケイフンペレット2号(有機質)	180kg	5.4	5.4	5.4		
立茎中	硫安(夏芽収穫開始後)	20kg×5回	21.0	·			
	合 計	345kg	37.05	12.9	11.4		

【ローテーション防除と作業体系】

昔	女布 時 期	回数	薬剤名および作業
前年	10月上旬	1	アフェットフロアブル
	2月下旬		堆肥施用
	3月中旬		収穫前施肥(硫安)
	3月下旬		春芽収穫開始
	4月下旬		立茎移行(収穫継続)
	5月上旬		春芽収穫後施肥(アスパラ化成552Eと発酵ケイフン)
収穫	6中~9上		立茎中施肥(5回)
年	6月下旬		夏芽収穫開始
	7月中旬	2	アフェットフロアブル
	8月上旬	3	ダコニールエース
	8月下旬	4	アフェットフロアブル
	9月中旬	5	ダコニールエース
	9月下旬		夏芽収穫打ち切り

【農薬使用基準】

	項目	適用病害虫名	農薬名	使用濃度	10a当り薬量	適正使用基	準	RAC
	块 口	迎 用 柄 音 玉 石	辰 柒 伯	(倍)	(水100ℓ)	使用時期	回数	コート゛
		アプラムシ類・ヨトウムシ・カメムシ類 ジュウシホシクビナガバムシ	アディオン乳剤	2,000	50ml	前日	3	I:3A
	殺虫剤	アザミウマ類	スピノエース顆粒水和剤	5,000	20g	前日	2	I:5
		アオムシ・コナガ・ヨトウムシ・ハスモンヨトウ	フローバックDF	1,000	100g	前日(発生初期)	-	I:11A
		ネキ゛アサ゛ミウマ・ハスモンヨトウ・ヨトウムシ	プレオフロアブル	1,000	100ml	前日	2	I:UN
•		アザミウマ類・カメムシ類	モスピランSL液剤	4,000	25ml	前日	2	I:4A
		ネキリムシ類	ガードベイトA	-	3kg	前日(株元散布)	3	I:3A
			アフェットフロアブル	2,000	50ml	前日	4	F:7
	殺菌剤	斑点病・茎枯病	ダコニールエース	1,500	66ml	前日	4	F:M5
			Zボルドー	500	200g	-	-	F:M1

※アディオン乳剤、ガードベイトAは成分としてペルメトリンを含む。ペルメトリンを含む農薬の総使用回数は3回以内。

項目	適用雑草	農 薬 名	10a当り薬量	使 用 時 期	回数	RAC
	一年生雑草	センコル水和剤	150g	萌芽前又は収穫打切後	1	H:5
除草剤	一 中土 椎 早 	ザクサ液剤	500ml	萌芽前又は畦間処理(収穫前日まで)	2	H:10
际早剤	ー年生イネ科雑草 (スズメノカタビラを除く)	ナブ乳剤	200ml	イネ科雑草3~8葉期(収穫前日まで)	1	H:1

【土づくり・防除技術】

- 1. 完熟堆肥(牛ふん麦稈堆肥で 5t/10aまで)の施用を基本とする。
- 2. 土壌診断を実施し、pH6~6.5を目標に土壌改良を行い、適正施肥を行なう。
- 3. 斑点病については、5回の基幹ローテーション防除を基準とする。